

助成事業実施報告書

団体名 一般社団法人 ReRoots

代表者・役職名 氏名 代表理事 広瀬剛史

▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調をお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願い致します)を添付して下さい。

1. 助成プロジェクト名

六郷地域における高齢者が安心して暮らせる村づくり

2. 実施団体の概要(創設の経緯、創設時期=法人で、法人化前に任意団体での活動がある場合、その段階からご記入ください。会員数など。180文字程度まで)

2011年3月、宮城県仙台市若林区は東日本大震災によって甚大な被害を受けた。仙台市在住の大学生が主体となって、「復旧から復興、そして地域おこしへ」をコンセプトとして2011年4月18日にReRootsを設立した。

復旧期には約3万人のボランティアを受け入れて農地を回復させ、農業とコミュニティの再生を目指して、市民農園の運営や販売活動、ツーリズム企画等を年間通じて実施している。現在は48名が活動している。

3. プロジェクトの目的とその背景(※応募申請書に記載のものでも可) 250文字程度まで

背景

震災による津波被災によって約500世帯から約200世帯へと人口が急激に減少した。加えて、地域の拠点であった東六郷小学校が閉校したこともあり、子どもと親世代は内陸部に移転し、残った人の多くは高齢者であったため、地域住民の過半数が60歳以上となった(65歳以上の割合を示す高齢化率は39%)。それに伴い、現在過疎化や高齢化が進行し、限界集落化への危機に面している。

目的

このような背景があり、若林区六郷東部地域の農村コミュニティの活性化及び高齢者が安心して暮らせる村づくりや、地域福祉の仕組みづくりと地域住民同士が集まる行事の仕掛けづくりを行う。

4. プロジェクトの内容(※当初予定と変更がない場合は、応募申請書に記載のものでも可) 300文字程度まで

①地域福祉

独居及び二人暮らしの高齢者を対象(約30軒)に、2ヶ月～3ヶ月に一回家庭訪問を行った。家庭訪問では、地域住民の話し相手や、日常生活で困っていることを聞き取った。

11月3日に福祉ワークショップを実施した。この企画では、昨年度の地域福祉調査結果をもとにした地域の課題と対策についての報告、地域福祉の専門家浜上章氏による講話を行い、住民同士の話し合いの場とした。

②映画上映会

11月24日(第8回)、7月11日(第10回)の2回行った。第8回では「伊豆の踊子」を上映し、上映後に健康体操とポッチャ大会も行った。また、その後手作りの菓子を提供するお茶会を行った。第10回では、「青い山脈」を上映し、前回好評であった健康体操とポッチャ大会も行った。

当初予定していた、2月以降の家庭訪問、第2回福祉ワークショップ、第9回映画上映会は新型コロナウイルス

の流行に伴い中止した。

5. プロジェクトの実施で得られた「結果」(OUTPUT。実施回数や参加者数など)、「成果」(OUTCOME。事業によって生まれた直接的な変化)、「社会的な変化」(IMPACT。事業が社会に与えた影響)などの『効果』 300文字程度まで

第8回映画上映会では、ここ最近では最多となる25名の住民が参加した。これは、映画と共に実施したボッチャも好評で、簡単に行えるスポーツに需要があり、身体を動かすことで介護予防になることが分かった。第10回映画上映会では、19人の住民が参加した。コロナウイルスの影響で外出の自粛が続いており、久々の運動の機会と住民同士の交流を生み出すことが出来た。

第1回福祉ワークショップでは、17名の住民が参加した。町内会長等の地域のリーダーからは、講師の方へ積極的に質問をする様子が見られ、地域の課題についての認識の共有を図ることができた。ただ、一般の住民からは地域の課題について考えることが難しいという反応もあり、地域内の意識のズレが具体的に表れてきた。

6. プロジェクト実施にあたっての課題、今後の展望など 300文字まで

映画上映会では、簡単に行えるスポーツが地域住民に需要があることが分かったため、今後はボッチャのルールを本格的なものにする。映画上映を実施しつつ、徐々にボッチャ大会や介護予防重視のスポーツをする機会を提供する場と変えていく。福祉ワークショップでは、企画の内容が難しいといった反応が見られたため、町内会長や地域の民生員以外の方の企画への巻き込みが課題となる。地域の見守り活動で需要があった除草サービスとしての有償ボランティアや今後課題となる移動問題についての認識統一を行う。

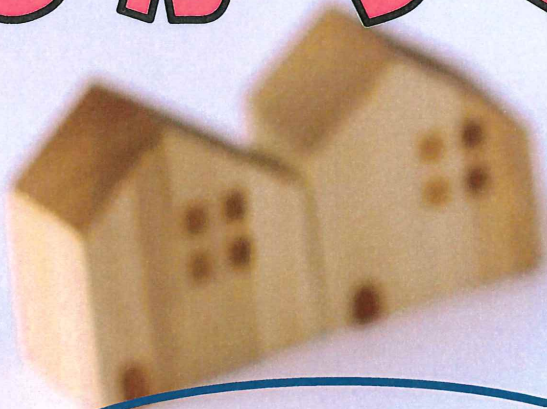
地域の見守り活動では、聞き出した意見や日常での困りごとをカルテとして整備し、出てきた問題を解決できるような企画を立案していく。

7. 参考資料

支援対象プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等は現物またはコピー、活動状況の写真などを参考資料として提供してください。

参考資料あり・特になし

ひがろく福祉カフェ



これからのひがろく
を考えよう!

日時：11月3日(日) 13:30~16:00

場所：東六郷コミュニティ・センター

参加無料・申し込み不要

トーク

ReRoots(りるーつ)

昨年度行いました地域福祉調査の結果から今後の地域課題とその対策について報告します。



浜上 章(はまがみ あきら)さん

阪神淡路大震災の被災地の社会福祉協議会で個別支援や地域福祉活動の推進に関わる。現在、宮城県サポートセンター支援事務所アドバイザーとして活動中。

主催：一般社団法人ReRoots お問

い合わせ：022 - 762-8211

本企画は「令和元年度みやぎ地域復興支援助成金」
「真如苑 市民防災・減災活動支援助成」によって助成されています

